

## 北陸新幹線福井・敦賀開業を契機とした伝統的工芸品等の販路拡大に関する提言書

本県では、北陸新幹線福井・敦賀開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通など100年に一度のチャンスを迎える中、丹南地域においては、越前たけふ駅の設置や国道417号冠山峠道路の開通によるアクセス向上により、観光・物流・産業等の交流が拡大・活性化するものと期待されます。特に、この丹南地域は、越前漆器、越前和紙、越前打刃物など5つの伝統的工芸品産地が集積している全国でも稀有な地域であることから、この地域特性を活かした戦略が重要です。

一方、本県における伝統的工芸品の一人当たり生産額は、この20年ではほぼ半減しており、衰退の一途をたどっています。要因として、後継者不足や原材料の確保難、規格商品との価格・量産性の面での競争といった問題とあわせて、国民の意識変化があげられます。使い捨て思考のもと、価格や目新しさ、流行などの側面が重視され、一見して地味なデザインが多い伝統的工芸品の長く使い込むことにより味が出てくるという特徴が真価を発揮する機会が限られ、消費者の関心が薄れていると考えられます。

平成31年に関西圏を対象に実施した福井ブランド調査によれば、伝統的工芸品の知名度は低く、購買意欲もそれに比例して低くなっていますが、伝統的工芸品を購入した人の満足度はかなり高くなっていることから、より多くの人に直接触れていただく機会を増やすことで伝統的工芸品の魅力が広く伝わり、認知度向上とともに販路拡大につながり、ひいては関連産業も含めた地場産業の振興に寄与するものと考えます。また、伝統的工芸品は先に述べたとおり、長く使い込むことで真価を発揮するものであり、量産品とは異なり高品質、高価格なものであることから、長期使用が見込め、その販路拡大はSDGsの取組みにも資するものと考えます。

以上のことから、下記事項について提言します。

### 記

- 1 越前漆器を活用した駅弁の開発や伝統的工芸品のテーブルコーディネートなどの展示等を行うとともに、伝統工芸を活かしたアクセサリや地場の食材を活かした食品など、手軽に購入できる福井ならではの土産品開発により伝統的工芸品の販路拡大および地場の食産業のPRを図ること

また、販売する商品等に伝統的工芸品の製作過程や体験ツアーを紹介する動画の二次元バーコードを掲載するなど、普及啓発活動に努めること

- 2 駅弁等の開発にあたっては、食材に地場のものを使用するとともに、お品書き等に食材の生産者やオンラインショップの案内につながる二次元バーコードなどを掲載するなど、地場産業の振興に努めること

令和3年8月4日

福井県知事 杉本達治様

福井県立鯖江高等学校 チーム「焼豚」

大賀陸央 中村優仁

山田倫太郎 山本大地

倉林彪 冨